



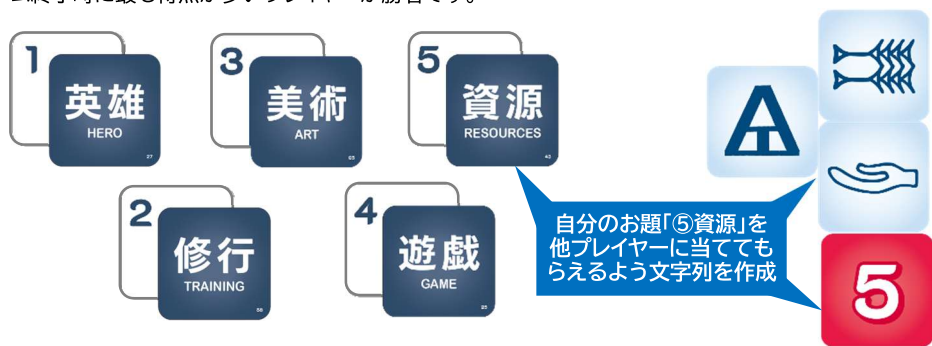
English rules are available at this link.



~地球人と友好を結びたい宇宙人たち。彼らは地球の文字を学び始めますが、それが地域や時代によって大きく異なることを知りません。結果、どの種族も文字をへんてこに解釈してしまうことに…！もっとも上手く文字を使いこなし、地球との交流代表となるのはどの種族でしょうか？~

ゲームの概要

《パラグリフ》は、古今東西の美在する文字や記号を使ったゲームです。各プレイヤーは、自分のお題を他プレイヤーに当ててもらえるよう、全員同時にヒントを作ります。3枚の文字・記号を組み合わせて作った〈文字列〉がヒントになります。自分のお題を当ててもらえたり、相手のお題を当てたりすると得点が入ります。ゲーム終了時に最も得点が多いプレイヤーが勝者です。



内容物

- カード 96枚
グリフカード 61枚
プレイヤーカード 25枚
お題置き場カード 5枚
ミッションカード 5枚



※グリフカードは、一方の面が〈お題〉、他方の面が〈文字〉となっています
※プレイヤーカードは5色あり、各色は5枚ずつあります
ルール説明書 1部

まず、3~5人で遊ぶ〈基本ルール〉について説明します。2人で遊ぶ〈協カルール〉については後述します。

ゲームの準備

- ① グリフカード(61枚)をよく混ぜてテーブルに置き、〈山札〉とします。(※どちらの面を上にしても構いません)
② プレイヤーカードのセット1色(5枚)を各プレイヤーに渡します。(※余ったカードは箱にしまってください)
③ お題置き場カード(5枚)を、表向きにしてテーブルの隅に並べて、〈お題置き場〉とします。
④ ミッションカード(5枚)の束を、裏向きにして(番号を伏せて)テーブルに置きます。

ゲームの進行

ゲームは3ラウンドにわたって行います。各ラウンドは、【①お題の設定】【②文字列の作成】【③回答】【④正解の発表】の4フェイズの順に進みます。

① お題の設定

ミッションカードを各プレイヤーに番号を伏せて裏向きで1枚ずつ配ります。(※余ったカードは番号を伏せたまま裏向きでテーブルの脇によけておきます)

【注意】この時点で各プレイヤーはミッションカードの表面を見てはいけません。

山札から[プレイヤー人数×5]枚のグリフカードを引いて、文字の面を上にして、テーブル中央に広げます。山札から1枚ずつグリフカードを引いて、お題の面を上にして、お題置き場に並べます。



3人プレイの例

② 文字列の作成

合図とともに、全プレイヤーは以下の手順で文字列を同時進行で作ります。(※手番順ではありません) まず、ミッションカードをめくり番号を確認します。お題置き場にある同じ番号のお題が自分のお題です。

(※お題を確認したら番号を伏せて手元に置いてください)

次に、テーブル中央からグリフカードをちょうど3枚取ります。

カードを取るのは早い者勝ちです。適切なカードを他プレイヤーに取られる前にいち早く見つけて取りましょう。

【注意】一度取ったカードをテーブル中央に戻すことはできません。

続いて、取ったグリフカードとミッションカードを、以下の〈配置ルール〉を守るように、手元に配置します。

〈配置ルール1〉

各グリフカードは、辺または角で接するように、それぞれを繋げて配置します。

(※各カードは自由に回転できます)

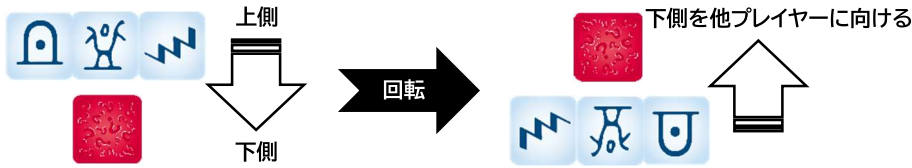


各カードを離して配置してはいけません。また、重ねて配置してもいけません。



<配置ルール2>

作った文字列に対して下側を示すようミッションカードを配置してください。
配置したら、他プレイヤーが読みやすいようにミッションカードごと文字列を回転させるとよいでしょう。



文字列を作成したら、プレイヤーカードを手札として持ち、作成したことを他プレイヤーに示してください。
そのまま、全プレイヤーが文字列を作成するまで待ちます。
待っている間に、他プレイヤーが作成した(または作成中の)文字列を見ておくと良いでしょう。
(※待っている時間がシンキングタイムになります)

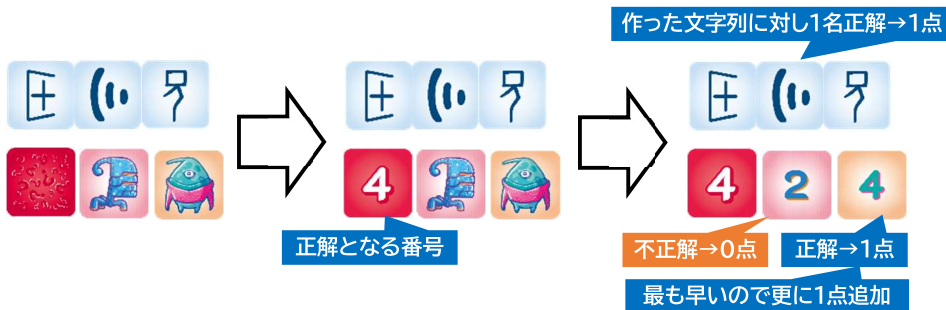
③ 回答

全ての文字列が完成したら、合図とともに全プレイヤーが同時進行で回答を行います。(※手番順ではありません)
回答は、手札のプレイヤーカードを使って、他プレイヤー全員に対して行います。
他プレイヤーの文字列を見てお題を推理し、該当する番号のカードを、そのプレイヤーのミッションカードの上に1枚だけ裏向きで重ねます。既に他プレイヤーのカードが置かれている場合は、その上に重ねてください。
回答は早い方が得点において有利です。他プレイヤーにカードを重ねられる前にいち早くカードを重ねましょう。
【注意】一度重ねた自分のカードを手札に戻すことはできません。



④ 正解の発表

全プレイヤーが回答を終えたら、正解の発表と得点計算を行います。
適当に決めたプレイヤーから時計回りに1人ずつ以下の手順で行います。
まず、回答順がわかるよう、ミッションカードを先頭としてプレイヤーカードを回答が早い順に並べます。
次に、ミッションカードをめくって正解となるお題の番号を公開します。
続けて、回答順にプレイヤーカードをめくって回答を公開します。
正解したプレイヤーはそれぞれ1点を得ます。正解した中で最も先に回答したプレイヤーは追加で1点を得ます。
回答してもらったプレイヤーは、正解したプレイヤーの数と等しい得点を得ます。全プレイヤーに正解してもらった場合は、追加で2点を得ます。



正解を発表したプレイヤーは、文字列を作った意図を説明するとよいでしょう。(※感想を共有すると盛り上がります)
全プレイヤーの処理が終わったら、次のラウンドの準備を行います。(※最終ラウンドでは不要です)
お題置き場のカードも含め、全てのグリフカードを山札に戻してシャッフルします。
脇に置いておいたカード(【①お題の設定】を参照)も含め、全てのミッションカードを集めてシャッフルします。
各プレイヤーは、自分のプレイヤーカードを手元に戻します。
これらが完了したら、次のラウンドに進みます。

ゲームの終了

3ラウンドを終えたらゲームの終了です。
最も得点が多いプレイヤーが勝者となります。同点のプレイヤーが複数いる場合は、勝利をわかちあいます。

2人プレイ用の協カルール

《パラグリフ》は2人で遊ぶこともできます。なるべく高い称号の獲得を目指して、協力してゲームを進めます。
基本ルールから以下の点に変更されます。

【ゲームの準備】

- ・プレイヤーカードは使用しません。箱に戻してください。
- ・2人のうち1人を〈出題者〉、もう1人を〈回答者〉とします。

【ゲームの進行】

- ・ゲームは2ラウンドにわたって行います。

【① お題の設定】

- ・ミッションカードは出題者にだけ配ります。
- ・グリフカードはテーブルに置かず、回答者に5枚配り、手札とします。

【② 文字列の作成】

- ・回答者は手札を1枚選び、出題者に渡します。その後、山札からグリフカードを1枚引き、手札に加えます。
- ・出題者は、受け取ったグリフカードを文字列に追加します。(※最初の1枚は自由に配置します)

・**【注意】一度配置したグリフカードや(文字列の下側を示す)ミッションカードは後から動かすことができません。**

【③ 回答】

- ・回答者は文字列を見てお題を推理し、回答するか/回答せず更にカードを追加するか、を選びます。
- ・回答した場合、【④正解の発表】に進みます。回答しない場合、【②文字列の作成】に戻ります。

(※【②文字列の作成】に戻り、カードを追加することで、文字列の情報が増えます)

【④ 正解の発表】

- ・回答が正解の場合、文字列に使われているグリフカードの枚数に応じて、得点を得ます。

グリフカードの枚数	1枚	2枚	3枚	4枚	5枚	6枚以上
得点	5点	4点	3点	2点	1点	0点

- ・回答が不正解の場合、得点は0点です。(※文字列に使われているグリフカードの枚数に関わらず0点です)
- ・次のラウンドでは、出題者と回答者を交代します。(※最終ラウンドでは不要です)

【ゲームの終了】

ゲーム終了後(2ラウンド終了後)に、合計得点に応じて以下の称号を獲得します。

0~3点	地球観光客	6~7点	宇宙外交官
4~5点	宇宙通訳者	8~10点	宇宙大使

このたびはお買い上げくださり、ありがとうございました。ご質問やご感想は info@fudacoma.jp までお願いします。
ゲームデザイン：沢口游祐 アートワーク：たかみまこと
テストプレイヤー：ゆきこ、ヒロシ、みやもと、Kotone、七盤のハムさん、やぬきけんじ、ソネうすぎ、ソネみよし、名古屋テストプレイ会の皆さん、EJP テストプレイ会の皆さん、渋谷区テストプレイ会の皆さん
(※グリフカードには古今東西の実在する文字や記号を載せていますが、実は1枚だけオリジナルの文字が紛れています。一体どれなのか探してみてください！)